

丸の内 de

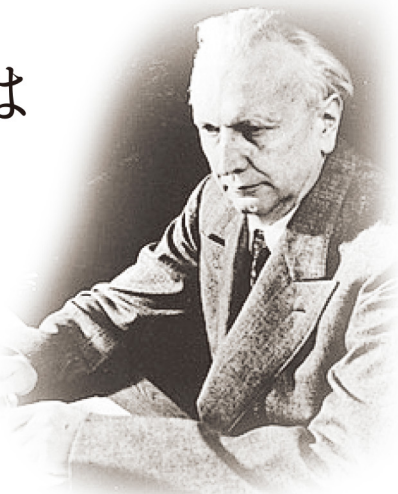
夏の大学トーク

縛られない「こころ」 —不確かな時代の〈確かさ〉とは

モノと情報が溢れかえる、確かに今はそんな時代です。でも、人が自ら命を絶ち、傷つけるニュースもまた溢れている。一見、不自由なく暮らしているように見えても、どこかに不安を抱えながら、私たちは「ハッピーな時代に生きている」という感覚を持ちにくくなっているのは事実です。とうに崩れ去っているように言われながら、しかし「モノの豊かさが幸福な暮らしを実現する」という思い込みにすがりついている社会の中で、私たちは未来を描けずに、危機や不安を自らの中に抱えて生きているのかも知れません。

そうした時代を背景に、これまで敬遠されがちだった哲学が注目されるようになりました。「哲学」関連書がベストセラーになり、テレビでも哲人たちの金言を取り上げる番組が放映されています。不安の中にあって、確かなものを見いだしたい。私たちがこれまでになく哲学を探し求めている理由はそこにあります。

そこで今回の「丸の内 de 夏の大学トーク」では、不確かな時代に確かさを求める、私たちの「こころ」の問題に焦点をあてることにしました。「わたし」が「わたし」であること。その確たる地盤のうえで幸福を追い求めること。そのために、私たちはまず、それぞれの縛られない「こころ」の在り処を見つけ出さねばなりません。今回は、物質的豊かさに夢を見る時代を批判したヤスパーズとアドラーという二人の思想家に焦点をあてながら、それぞれの専門家に語っていただきます。



演題

講演1：ヤスパーズと「こころ」の問題 松野さやか（大阪大学非常勤講師）

講演2：アドラーから学ぶ幸福論 岸見一郎（哲学者・心理学者）

コメント：今日の時代に「こころ」を哲学する 富田恭彦（京都大学名誉教授・同志社大学嘱託講師）

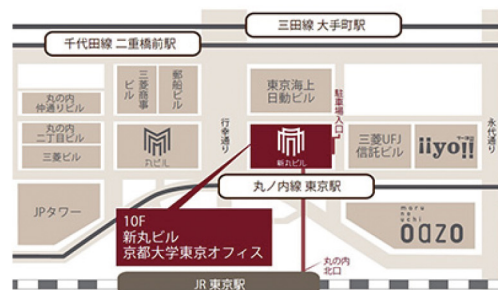
日時：2019年6月28日（金）18時～20時（開場17時30分）

会場：京都大学東京オフィス（東京駅正面 新丸ビル10階）

定員：80名（要事前申込。申込多数の場合は抽選とさせていただきます）

主催：京都大学、京都大学学術出版会

後援：読売新聞社、活字文化推進会議



日本のフィールド科学の祖とされる今西錦司博士が『生物の世界』を著して、すべての生物に社会があると宣言したのは、1941年、39歳のことでした。当時、ヒトとヒト以外を同列に扱うことは欧米の学界から強い批判を浴びました。しかし人文科学と自然科学との垣根を取り払い、人間中心の世界観を覆した日本の学術は、今や、様々な分野で世界をリードしています。地球規模、あるいは生命史・人類史の長さを見据えて解決すべき問題に私たちが直面する今日、若き日の今西錦司が挑戦したように、今、京都大学の研究者は、未来を拓くための様々な研究に勤しんでいます。週末の一時、こうした研究者を囲んで、歴史と未来を大いに語ってみませんか。



松野さやか ◆まつの さやか

大阪大学非常勤講師

1977年千葉県生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了。京都大学博士（人間・環境学）。京都大学大学院人間・環境学研究科非常勤研究員、京都大学国際高等教育院非常勤講師を経て、現在に至る。著書に、『ヤスパースの実存思想—主観主義の超克』（京都大学学術出版会）がある。



岸見一郎 ◆きしみ いちろう

哲学者、心理学者

1956年京都府生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。著書に、『嫌われる勇氣』『幸せになる勇氣』（ダイヤモンド社）、『幸福の哲学』（講談社）、『三木清『人生論ノート』を読む』（白澤社）、『シリーズ世界の思想 プラトン ソクラテスの弁明』（KADOKAWA）、『生きづらさからの脱却』（筑摩書房）、『アドラーをじっくり読む』（中央公論新社）、『愛とためらいの哲学』（PHP研究所）、『成功ではなく、幸福について語ろう』（幻冬舎）、『アドラー心理学入門』（ベストセラーズ）などがある。



富田恭彦 ◆とみだ やすひこ

京都大学名誉教授・同志社大学嘱託講師

1952年香川県生まれ。京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学。京都大学博士（文学）。ハーバード大学客員研究員、京都大学大学院人間・環境学研究科教授などを経て、現在に至る。著書に、『ロック哲学の隠された論理』『カント批判』『バークリの『原理』を読む』（勁草書房）、『クワインと現代アメリカ哲学』『観念論の謎解き』（世界思想社）、『観念論の教室』（ちくま新書）、『ローティ』（筑摩選書）、『カント入門講義』『ロック入門講義』『デカルト入門講義』（ちくま学芸文庫）、『カント哲学の奇妙な歪み』（岩波現代全書）、Idea and Thing (Kluwer)、Locke, Berkeley, Kant (Olms) など多数。翻訳にローティ『連帯と自由の哲学』（岩波書店）、『ローティ論集』（勁草書房）などがある。

申し込み方法

事前申し込みが必要です。Eメールで京都大学学術出版会 シンポジウム掛までお申し込みください。その際、講演会参加希望・氏名・年齢・職業・住所・郵便番号・電話番号・メールアドレスをお知らせください。お申し込みが多数の場合、抽選を行います。原則として6月21日（金）までに、ご登録いただいたメールアドレスに抽選結果をお送りいたします。6月21日を過ぎてもメールが届かない場合は、誠にお手数ですが、事務局までご連絡下さい。

〒606-8315

京都市左京区吉田近衛町 69番地 京都大学吉田南構内
京都大学学術出版会 シンポジウム掛

TEL: 075-761-6182

Email: sympo@kyoto-up.or.jp